



道の駅榑脇「遊湯館」などで販売中の「ふとどん」



「巨人のふとどん」
むかしむかしのお話です。 祁答院の蘭牟田は土地が高台にあるので水田ができません。ふとどんは、身の丈50mもあり天に届くような大男でしたから、たった一晩で深い穴を掘り、池を作っていました。これが今の蘭牟田池です。それから、ふとどんは、四方に目を配り、掘った土のやり場を探しました。やがて気に入った場所を見つけたのか、掘った土を榑脇の上之原盆地まで運び、こゝんもりと山のように積み上げました。これが今の丸山です。そして、これが、蘭牟田

池の周りと丸山の大きさは同じくらいだといわれているゆえんです。ちなみに、ふとどんが土を持ち上げる際に踏ん張った足跡が、丸山の東側の谷間に沿って片方だけ今も残っているそうです。とても興味深い昔話ですね。

■お菓子のふとどん
市比野の福寿堂さんは、この「ふとどん」をモチーフにして、当時市比野に赴任していた地域おこし協力隊も協力し、「ふとどん」のお菓子を開発しました。ふとどんを食べながらふとどんの足跡をたどってみてはいかがでしょう。

■文責・問合せ 本庁文化課 文化財G(内線5232)

第伍回

語り継がれる伝説の大男「ふとどん」の話
蘭牟田池と丸山ができるまで

深発見 歴史文化 遺産

今回は、祁答院町にある蘭牟田池と榑脇町の塔之原と市比野のほぼ中ほどにある丸山にまつわるお話を紹介します。

薩摩川内には長い歴史の中で起きた物語、育まれた文化が数多くあります。このコーナーでは、数ある薩摩川内の歴史・文化の中から、とっておきのトピックスをご紹介します。

保護犬・保護猫の譲渡会開催

9月20日(月)、「鹿児島県動物愛護団体 くるくるいちご」主催の保護犬・保護猫の譲渡会がリブンプラスで開催されました。この取り組みは、保護犬・保護猫の里親を探すことを目的に定期的に開催されているもので、ずっと一緒にいられる家族を待つ犬猫たちにたくさんの方が会いに来られました。



情報提供：はるゆうママさん

川内大綱引奉納花火 来年こそは川内大綱引を！

川内大綱引は、昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となりましたが、大綱引の開催予定日である9月22日(水)に新田神社において、神事が行われ、疫病退散、天下泰平、そして来年度の開催を祈願しました。

また、20時25分の綱割り(大綱引開始)の時刻に合わせて、川内川河川敷において、川内川大綱引奉納花火の打ち上げを行いました。



甑島振興局が開庁しました

10月1日(金)、「上甑町中甑」に甑島振興局が開庁しました。甑島振興局は、甑島区域を統括し、本庁、支所、市民サービスセンターとの連携強化を行い、島民の声に迅速に対応できる市民目線を重視した身近で頼られる組織となるよう市民の皆さま方のご意見を伺いながら取り組んでいきます。



隈小はんや隊！大きく舞って！

「隈小はんや隊 2021」(5.6年希望者で構成)に隈之城地区コミ青少年育成部会から「はんや大旗」を贈呈。隈之城地区コミ青少年育成部会は、コミュニティスクールとして一昨年から大会の練習や当日の引率などの協力をしています。今年は残念ながら中止となった大会。来年度大きく舞う事を祈り、今年度の大運動会の「ロックはんや」(5年生)でお披露目となりました。



情報提供：隈之城地区コミュニティ協議会

消毒液スタンド寄贈式 ~SDGsでコロナ禍克服！~

9月22日(水)、株式会社ナカダイ(東京都)より、未使用の足踏み式消毒液スタンド576台の寄贈がありました。これは、本市の「未来創生SDGs・カーボンニュートラル宣言」や「循環経済産業都市」の取り組みに賛同いただき贈られたもので、公共施設などに設置し、新型コロナウイルス感染防止対策のさらなる強化に活用していきます。



雨の強さと降り方

1時間雨量	予報用語 人の受けるイメージ	人への影響	屋外の様子	車
10~20mm 未満	やや強い雨 ザーザー	地面からの跳ね返りで足元がぬれる。	地面一面に水たまりができる。	車のワイパーを速くしても見づらい。
20~30mm 未満	強い雨 土砂降り	傘を差していてもぬれる。	道路が川のようにになる。	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる。(ハイドロプレーニング現象)
30~50mm 未満	激しい雨 バケツをひっくり返したよう	傘はまったく役に立たなくなる。	水しぶきで辺り一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	車の運転は危険。
50~80mm 未満	非常に激しい雨 滝のよう ゴーゴー			
80mm以上	猛烈な雨 息苦しくなるような圧迫感			

風の強さと吹き方

平均風速	予報用語	およその時速	人への影響	屋外の様子	建造物
10~15 m/s未満	やや強い風	~ 50km	風に向かって歩きにくくなる。	樹木全体や電線が揺れ始める。	雨どいが揺れ始める。
15~20 m/s未満	強い風	~ 70km	風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業は極めて危険。	電線が鳴り始める。看板やトタン板が外れ始める。	屋根瓦・屋根材が剥がれるものがある。雨戸やシャッターが揺れる。
20~25 m/s未満	非常に強い風	~ 90km	何かにつかまっていられない。飛来物によって負傷する恐れがある。	細い木の幹が折れたり、根の張っていない木が倒れ始め、看板が落下・飛散する。道路標識が傾く。	固定されていないプレハブ小屋が移動、転倒する。ビニールハウスが広範囲に破れる。
25~30 m/s未満		~ 110km			
30~35 m/s未満		~ 125km			
35~40 m/s未満	猛烈な風	~ 140km	屋外での行動は極めて危険。	多くの樹木が倒れ、電柱や街灯が倒れたり、ブロック壁が倒壊し始める。	固定の不十分な金属屋根の葺材がめくれ、養生が不十分な仮設足場が崩落する。外装材が広範囲にわたって飛散し、下地材が露出したりし始める。住家が倒壊したり、変形する鉄骨構造物が出始める。
40 m/s以上		140km~			

(気象庁ウェブサイトより抜粋)

大雨と強風の基準を知ろう

どのくらい降ったら大雨？強風ってどのくらい？今回は、大雨や台風の時にも役立つそんな基準をご紹介します。

VOL.8 防災トピックス

このコーナーでは、防災に関する備えや避難時の注意など、日ごろから災害に備えるための情報をスポットで発信していきます。

